

新年明けましておめでとうございます!

昨年は、コロナ禍や7月豪雨災害、国内での高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生などが続くなか、家保の事業推進にご理解とご協力頂きありがとうございました。本年も年始から高病原性鳥インフルエンザが発生しており、気が抜けない日々が続いています。職員一同、伝染病予防と地域の生産性向上に全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第2回 熊本県鳥インフエンザ緊急防疫対策会議が開催されました

令和3年(2021年) 1月5日午前、第2回熊本県島インフルエンザ緊急防疫対策会議が開催され、対策に際して①ウイルスを農場に入れないこと、②万一入ったら、迅速・的確に初動を行うこと、③そして初動において空振りを恐れないことの3つの重要性と、引き続き警戒を緩めることなく、万全の準備を整えるようにと、蒲島知事より訓示がありました。また、今シーズン2度目となる全養鶏場への消毒命令も発令されました。



繁殖農家の皆様、牛は食後どのくらい座っていますか?

地域衛生業務の際に牛舎にいくと、繁殖検診でない牛も空っぽの飼槽の前で立たせていたり、外に牛を並べて繋いでいる農場を見かけます。理由を聞くと、「日光浴のため」「日中はいつも立たせているの」「お昼には放すよー」など、回答を聞くことがあります。

【横臥率】という言葉をご存じでしょうか?横臥率は、乳牛農家の方々にはよく知られた言葉ですが、繁殖農家の皆様には馴染みのない言葉かもしれません。牛の快適性を表す指標の一つで、「牛群で何割の牛が座っているか?」です。牛は食後、満腹になると①水を飲み、②寝転がって(うっとりと)③反芻します。この時間が長いほどリラックスし、消化がスムーズに行われ、与えられた餌を無駄なく吸収することができます。採食後 1~3 時間で 80%の牛が寝て反芻していれば、牛舎環境は牛にとって【快適である】と考えられています。

乳牛では、乳量が横臥率の高さに比例するとされていますが、繁殖和牛ではどのような影響があるのでしょうか?

★立たせすぎのデメリット

- 単純に、立つエネルギーが消耗される。
- ・飲水・反芻回数が減るため、第一胃の栄養素(菌体蛋白質)合成が減少する。
 - →給与した餌が全て利用されきれず、**糞が多くなる≒餌に無駄がでる**
- ストレスホルモン(副腎皮質ホルモン)が常時出ている→受胎しにくい。風邪をひきやすい、分娩後の初回発情が遅れる、その他、感染し易くなる等。

★横臥して反芻するメリット

- 第一胃での、栄養素合成・代謝が最大限になり、飼料効率が上がる。
- 妊娠牛では、立っているときと比べ、妊娠子宮への血流量(胎仔への栄養供給量)が 10~20% 増加し、胎仔の健康な発育を促す。
- ・心拍数の低下(リラックスモード)、乳房への血流量の増加、分娩後子宮の早期回復・発情回帰

その他、牛が横臥しない理由には様々な要因が挙げられます。

★横臥時間を減少させる要因は?

- ・水が飲めない:給餌後、スタンチョンから解放された牛はまず水飲み場へいきます。強い牛から順に水を飲むため、順位が低い牛は待たされるので、リラックスして反芻を開始できる時間が遅れます。餌場が空になったらなるべく早くスタンチョンを外して、全頭が座って反芻できる時間を延ばして下さい。大型水槽の設置など、水飲み場を増やすのも一つの方法です。個飼いでバケツ給与の場合は、いつでも水が飲める状態にして下さい。
- ・寒い(床が冷たい):冷気は下の方に溜まる ため、寒いと牛は座りません。酷い時は一 晩中立っている牛もいるほどです。寒いと、 胎仔や発情に行くはずのエネルギーが、体 温維持に取られます。

寒くなる前日などは敷料をいつもより多めに敷く、雨の後の床濡れの際は敷料の交換回数を高める、など寒冷対策をお願いします。

- ・足が痛い:足や蹄が痛いと、体重がかかる 寝起きが嫌になり、座らなくなります。一 度座ると今度は立つのを嫌がります。
- ・いじめっ子がいて、リラックスできない: 発情牛がいる際は、乗駕行動確認後、その 牛のみを(座れるように)繋留してください。 牛舎に余裕があれば、群の中の弱い子を群 替え(部屋替え)してみてください。

右写真:季節外れの写真ですが…暑い夏場も横臥率は下がります。 写真は、蒸し暑く風のない日。床もベチャベチャ。座らず、風の 通るポジションの取り合いとなります。(上記写真と同一牛舎)



上写真:ふかふかベッドで、各々好きな場所で寝ている牛群、 牛が横になれる環境づくりも大切です。



牛は上記の①飲水②横臥③反芻を満たしていれば、幸せを感じ、最高のパフォーマンスをしてくれます。しかし、実践となるとなかなか難しいものです。

★体型づくりのための馴致・調教や日光浴はいつすればいいの?

<u>採食後すぐではなく、全ての牛が満足するまで飲水し、休息を与えた後に行うように</u>しましょう。 具体的には、朝の採食後 4 時間以上経って充分に横臥・反芻させてから、夕方の給餌までの間で 2 時間以内が好ましいです。夕方の給餌前には再度自由飲水をさせて下さい。

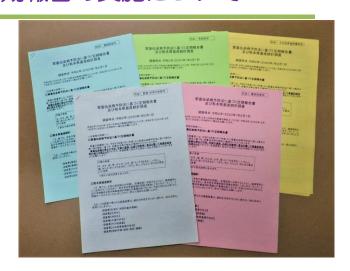
給餌後、立っている牛の数が減れば、何となく上手くいってなかった発情発見や年1産、セリでの高値も見込まれるかもしれません。是非、食後の横臥率100%を目指してみて下さい。

【飼養者・市町村担当者の皆様】定期報告の実施について

今年も、2月1日時点における家畜の飼養衛生管理 状況の定期報告及び熊本県畜産統計調査の実施の時期 が近づいてきました。

これは、家畜伝染病予防法第12条の4に基づく<u>家</u> <u>畜伝染病の発生予防・迅速な対応に資するための調査</u> <u>とともに、熊本県の畜産関連施策に役立てるための</u>重 要な調査です。

関係者の皆様におかれましては、飼養者への調査票配付、記入ならびに回収など、円滑な実施にご協力くださるよう、よろしくお願いいたします。



※【参考】今年(令和3年)の定期報告書の調査票様式は次のとおりです

- ○酪農・肉用牛は「白色」の用紙
- ○養豚経営は「赤色」、養鶏経営は「青色」、馬経営は「緑色」、その他の家畜は「黄色」

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ	H5N8	韓国(32件)	家禽	令和2年(2020年)12月1日 ~12月28日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国(60件)	野生イノシシ	令和2年(2020年)12月1日 ~12月31日
		ロシア(25件)	豚・野生イノシシ	令和2年(2020年)12月1日 ~12月31日
		ウクライナ(2件)	豚	令和2年(2020年) 11月30日,12月11日
				令和3年(2021年)1月1日現在